

◆ 今週のコメント

- 新型コロナウイルス感染症の報告が25例(男性11例(10歳代3例, 20歳代3例, 30歳代1例, 40歳代1例, 60歳代1例, 70歳代1例, 80歳代1例), 女性14例(10歳代1例, 20歳代4例, 30歳代1例, 40歳代1例, 50歳代1例, 60歳代3例, 70歳代1例, 90歳代1例, 年齢非公開1例))あり, 本年の累積報告数は3,113例になりました。

本感染症の最新の動向及び詳細については下記URLをご参照ください。

○新型コロナウイルス感染症 最新の動向

<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000268303.html>

- レジオネラ症(肺炎型)の報告が1例(80歳代男性)あり, 症状は発熱, 呼吸困難, 肺炎です。本年の累積報告数は6例となりました。
- カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症の報告が3例(60歳代男性2例及び80歳代男性1例)(第8週追加報告分含む)ありました。本年の累積報告数は6例となりました。
- 百日咳の報告が1例(90歳代女性)あり, 症状は持続する咳です。感染地域は国内, 感染経路は不明です。本年の累積報告数は2例となりました。

◆ 今週のトピックス: <新型コロナウイルス感染症>

2021年第9週, 本市では新型コロナウイルス感染症の検査陽性者(以下, 陽性者)が25例報告されました。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

(性別, 年齢, 症状, 感染地域*, 感染経路*の順に掲載。)

- 二類: 結核 7例(肺結核 2例, その他結核 1例, 潜在性結核感染者 4例)うち喀痰塗抹陽性 1例)
【1月以降の累積報告数 36例(肺結核 15例, その他結核 12例, 潜在性結核感染者 9例)うち喀痰塗抹陽性 7例】
- 新型コロナウイルス感染症 25例【1月以降の累積報告数 3,113例】
男, 11例(10歳代3例, 20歳代3例, 30歳代1例, 40歳代1例, 60歳代1例, 70歳代1例, 80歳代1例)
女, 14例(10歳代1例, 20歳代4例, 30歳代1例, 40歳代1例, 50歳代1例, 60歳代3例, 70歳代1例, 90歳代1例, 年齢非公開1例)
- 四類: レジオネラ症 1例【1月以降の累積報告数 6例】
- 五類: カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 3例【1月以降の累積報告数 6例】
- 五類: 百日咳 1例【1月以降の累積報告数 2例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0. 01	1
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	2. 93	126
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0. 93	40
	③ 突発性発しん	0. 19	8
	④ 咽頭結膜熱	0. 12	5
	⑤ ヘルパンギーナ	0. 05	2
眼科	流行性角結膜炎	0. 00	0

【次ページ以降の主な内容】

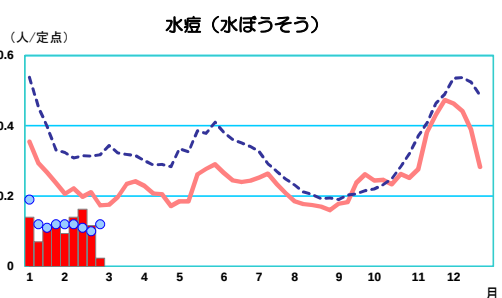
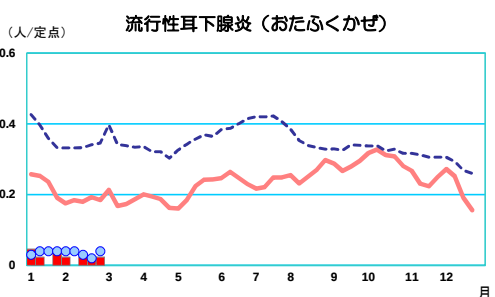
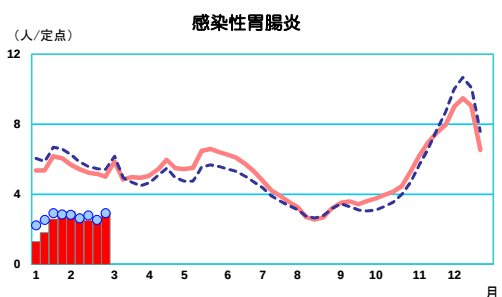
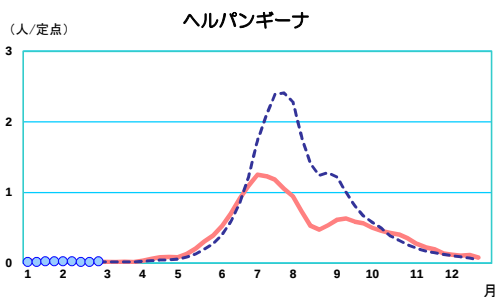
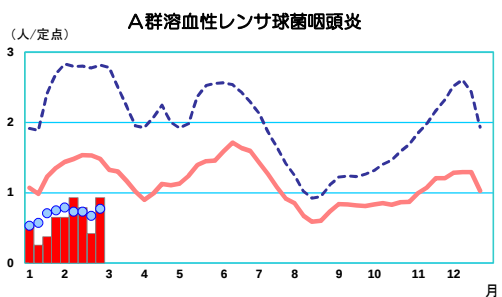
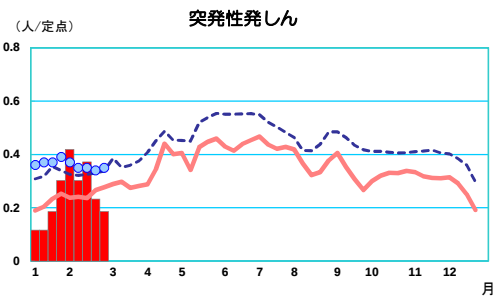
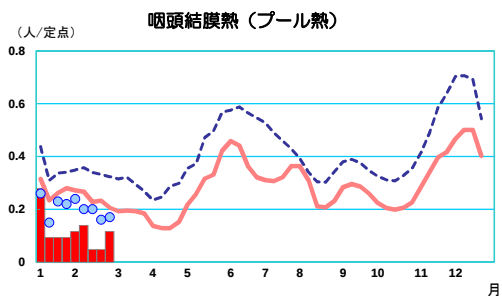
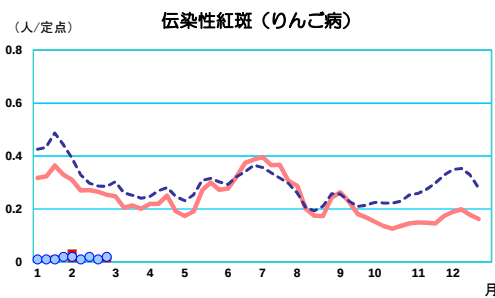
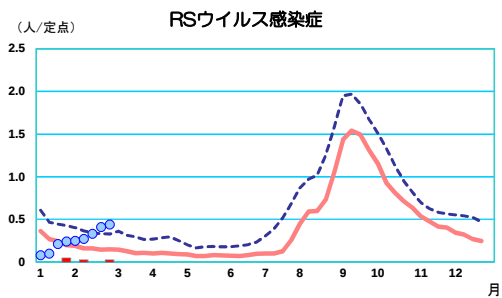
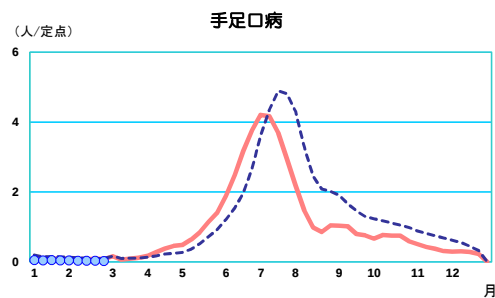
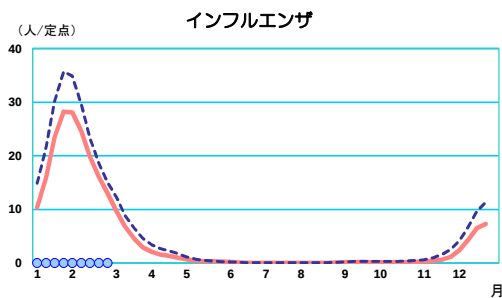
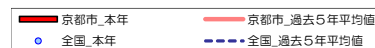
発生状況の概況グラフ / 発生状況地図 / 今週のトピックス: <新型コロナウイルス感染症>
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは, 2021年3月10日現在の報告数で, 全国の還元データと若干異なる場合があります。

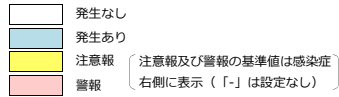
また, 本情報での患者数は, 届出医療機関所在地での集計で, 患者の住所を示すものではありません。

* 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

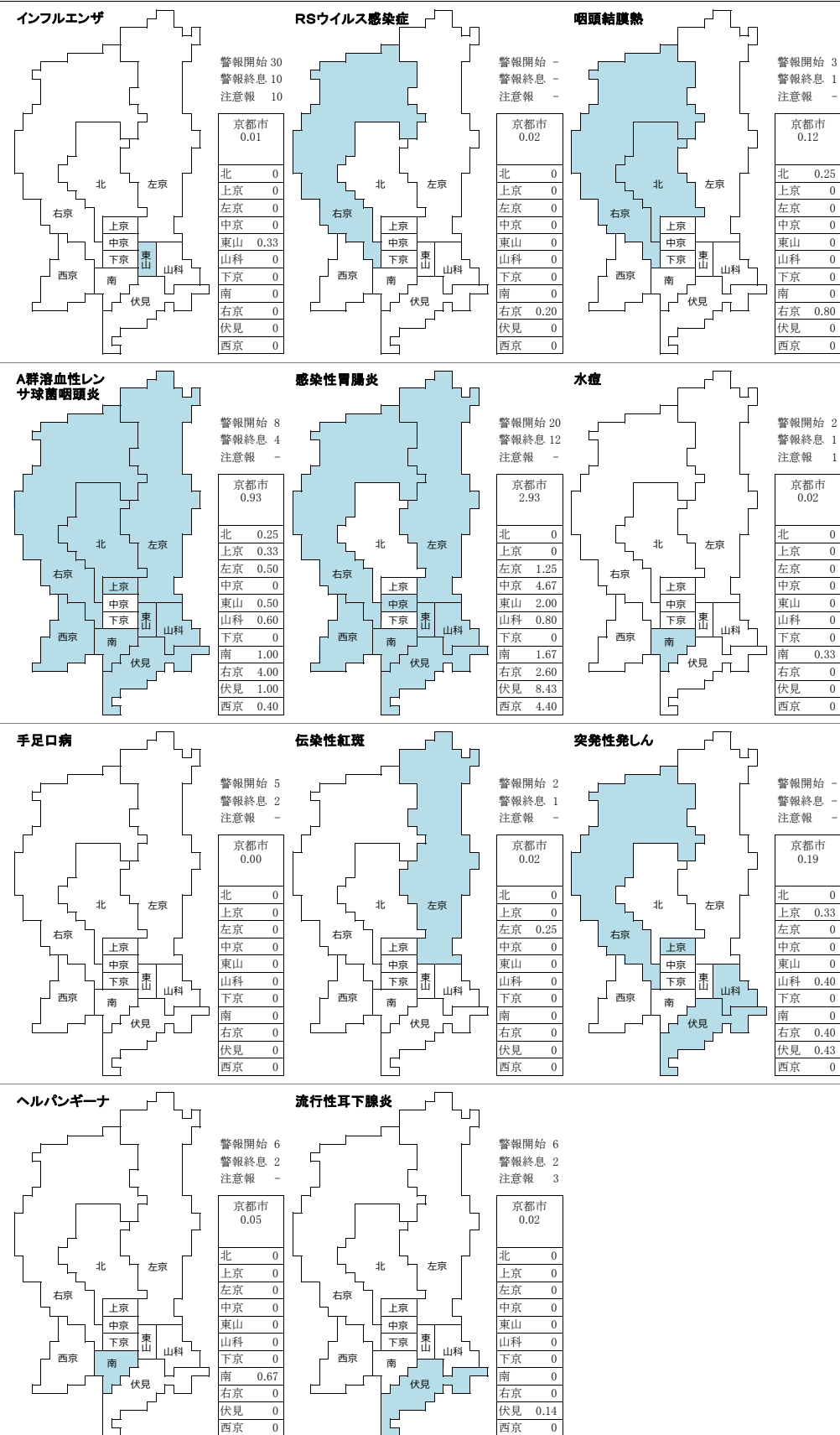
インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（2021年）



インフルエンザ及び小児感染症の発生状況地図【2021年 第9週】



※定点医療機関の所在地に基づいた集計結果となっています。
 したがって、定点当たり報告数は医療機関の「立地条件」や
 「規模の大小の影響を受ける場合がありますので、ご注意ください。



第9週(3月1日～3月7日)トピックス: <新型コロナウイルス感染症>

2021年第9週、本市では新型コロナウイルス感染症の検査陽性者(以下、陽性者)が25例報告されました。

本市の第一波(昨年1月～5月)の陽性者は248例でしたが、続く第二波(6月～9月)では1,039例(第一波の約4倍)、第三波(10月～翌2月)では5,187例(第二波の約5倍)と、流行を経るごとに大きく増加しています(いずれも発症日で起算)。

2021年3月8日現在、本市の累計陽性者は6,486例で、陽性者の死亡者(以下、死亡者)は119例(1.83%)です。

本市の新規陽性者数は昨年の12月頃から急激に増加し、今年の1月の新規陽性者数は2,400例以上に上りましたが、2月には約300例と約8分の1にまで急激に減少しています(図1及び図2、ともに折れ線部)。

若齢層は感染しても症状が軽かったりなかったりするため、若齢層から高齢層へ感染を広げてしまうおそれが指摘されています(*1)。実際に、東京では流行初期の陽性者には若齢層が多く、流行の終わりになるにつれて高齢層が増えていきました(*2)。本市でも、第一波で同じような傾向がみられます(図1、カラム部)。第二波では、流行が収まりきらずに第三波が始まったためか明瞭ではありませんが、第二波と第三波をとおして同様の傾向があるようです。

以上のように、流行初期には重症化しにくい若年層が流行の中心であるためか、本市では昨年1月に初めての陽性者が報告されましたが、死亡者は発生のピークが過ぎた4月まで報告されませんでした。第一波ではその後、流行が収まるにつれて死亡例が報告されました(図2、カラム部)。これは、流行が進んで高齢層に感染が広がった後、重症者として死に至るまで時間がかかるためと思われます。第二波と第三波をとおしてみると、第二波の終わりでは目立った死亡者の増加はありませんでしたが、第三波のピークの後に本市全死亡者数の過半数が報告されています。

本市では死亡例は全て60歳代以上で、70歳以上では男性のほうの致死割合が高くなっています(図3)。死亡例のうち、基礎疾患があったものが過半数を占めますので(表1)、なんらかの基礎疾患がある方は特に注意が必要です。

京都府では、新型コロナウイルス対策の特別措置法に基づく緊急事態措置を2月28日をもって解除しました。しかし、これまで緊急事態宣言解除後には、感染の再拡大(リバウンド)が起っています。緊急事態宣言の有無にかかわらず、マスクの着用やこまめな手洗い、三密を避けるなどの基本的な感染防止対策を行いましょう。

○「熱がある」「体がだるい」「のどが痛い」等、風邪の症状がある時は、身近な医療機関に、まず電話でご相談ください。

<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000277047.html>

○厚生労働省では、新型コロナウイルス感染症に関する情報を掲載しています。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html

○京都市では、新型コロナウイルス感染症の最新の動向を提供しています。

<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000268303.html>

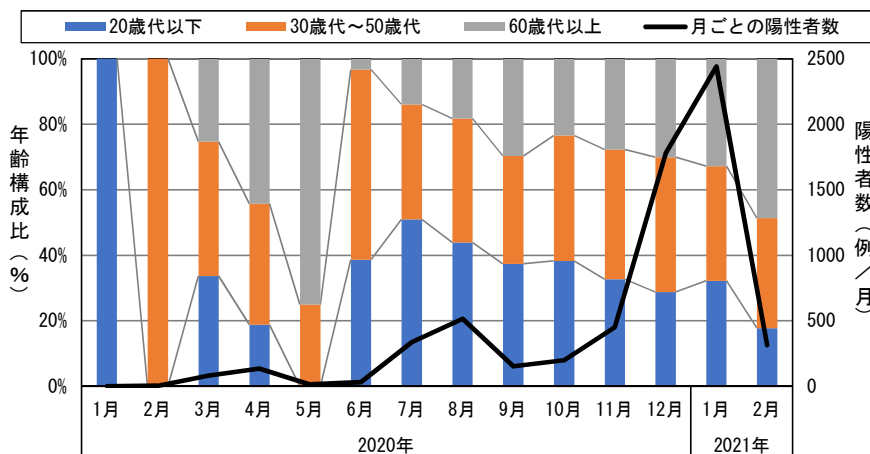


図1. 本市の月ごとの陽性者の年齢構成比と陽性者数*

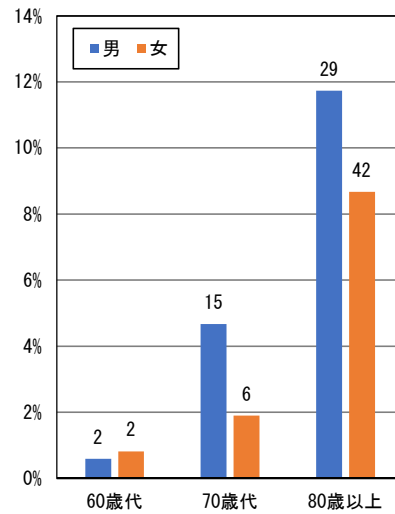


図3. 本市の陽性者の致命割合\$
カラムの高さで致命割合、カラム上に死亡者数を示した。

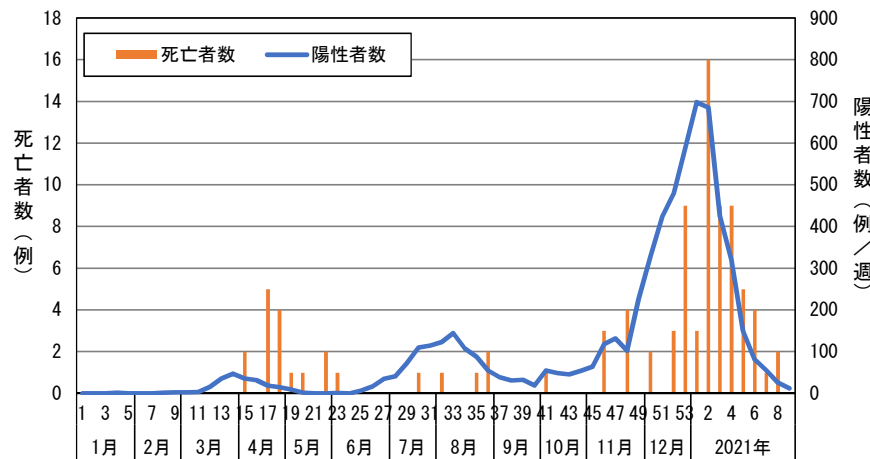


図2. 本市の週ごとの死亡者数と陽性者数の推移*

表1. 本市の死亡者の詳細\$#

	実数/割合
基礎疾患あり	77 64.7%
原因がCOVID-19である	72 60.5%
上記の両方を満たす	62 52.1%
基礎疾患なし	2 1.7%
原因がCOVID-19でない	15 12.6%
基礎疾患及び原因不明	20 16.8%
合計	119 100%

(*1) 内閣府ホームページ「新型コロナウイルス感染症対策分科会/第19回資料」

<https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/fil/bunkakai/corona25.pdf>

(*2) 東京都防災ホームページ、「(第31回) 東京都新型コロナウイルス感染症モニタリング会議資料(令和3年2月4日)」
https://www.bousai.metro.tokyo.lg.jp/res/projects/default_project/_page/001/012/970/31kai/2021020404.pdf

*…陽性者数は発症日、死亡者数は死亡日を基に作図した。

\$…詳細一部ないし全部不明の死亡例があり、合計は119例にならない。

#…原因死とは、死亡診断書に最も死亡に影響を与えた傷病名として記載されたものを指す。

T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2021年第9週

疾病,行政区別報告数

2021年3月1日～2021年3月7日

データ入手日:2021年3月10日

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群 溶血性レンサ球菌咽 頭炎	感染性胃腸炎	水 痘	手足口病	伝 染 性 紅 斑	突 発 性 発 し ん	ヘルパン ギーナ	流行性耳下 腺炎	急性出血性結 膜炎	流行性角結 膜炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (※3)	感染性胃腸炎 (※4)
男女合計																		
北	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
上京	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-					
左京	-	-	-	2	5	-	-	1	-	-	-	-	-					
中京	-	-	-	-	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	1	-	-	1	4	-	-	-	-	-	-							
山科	-	-	-	3	4	-	-	-	2	-	-	-	-					
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
南	-	-	-	3	5	1	-	-	-	2	-							
右京	-	1	4	20	13	-	-	-	2	-	-	-	-					
伏見	-	-	-	7	59	-	-	-	3	-	1	-	-					
西京	-	-	-	2	22	-	-	-	-	-	-	-	-					
京都市計	1	1	5	40	126	1	-	1	8	2	1	-	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群 溶血性レンサ球菌咽 頭炎	感染性胃腸炎	水 痘	手足口病	伝 染 性 紅 斑	突 発 性 発 し ん	ヘルパン ギーナ	流行性耳下 腺炎	急性出血性結 膜炎	流行性角結 膜炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (※3)	感染性胃腸炎 (※4)
男女合計																		
北	-	-	0.25	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
上京	-	-	-	0.33	-	-	-	-	0.33	-	-	-	-					
左京	-	-	-	0.50	1.25	-	-	0.25	-	-	-	-	-					
中京	-	-	-	-	4.67	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	0.33	-	-	0.50	2.00	-	-	-	-	-	-							
山科	-	-	-	0.60	0.80	-	-	-	0.40	-	-	-	-					
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
南	-	-	-	1.00	1.67	0.33	-	-	-	0.67	-							
右京	-	0.20	0.80	4.00	2.60	-	-	-	0.40	-	-	-	-					
伏見	-	-	-	1.00	8.43	-	-	-	0.43	-	0.14	-	-					
西京	-	-	-	0.40	4.40	-	-	-	-	-	-	-	-					
京都市計	0.01	0.02	0.12	0.93	2.93	0.02	-	0.02	0.19	0.05	0.02	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2021年第9週

年齢階級, 疾病別報告数

2021年3月1日～2021年3月7日

データ入手日:2021年3月10日

京都市	年齢1 年齢2 年齢3 年齢4	総数 総数 総数 総数	～5ヶ月 ～5ヶ月 ～5ヶ月 0歳	～11ヶ月 ～11ヶ月 ～11ヶ月 1歳-	1歳 1歳 1歳 5歳-	2歳 2歳 2歳 10歳-	3歳 3歳 3歳 15歳-	4歳 4歳 4歳 20歳-	5歳 5歳 5歳 25歳-	6歳 6歳 6歳 30歳-	7歳 7歳 7歳 35歳-	8歳 8歳 8歳 40歳-	9歳 9歳 9歳 45歳-	10歳- 10歳- 10歳- 50歳-	15歳- 15歳- 15歳- 55歳-	20歳- 20歳- 20歳以上 60歳-	30歳- 30歳- 30歳- 65歳-	40歳- 40歳- 40歳- 70歳以上	50歳- 50歳- 50歳- 70歳以上	60歳- 60歳- 60歳- 70歳以上	70歳- 70歳以上 70歳以上	80歳以上
男女合計	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
インフルエンザ (※1)	年齢1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢3	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		5	-	1	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		40	-	2	4	11	4	4	3	2	2	-	-	4	1	3	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		126	1	3	19	11	17	11	9	8	4	4	6	15	3	15	-	-	-	-	-	-
水痘		1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		8	-	1	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		2	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎 (※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1 年齢2 年齢3 年齢4	総数 総数 総数 総数	～5ヶ月 ～5ヶ月 ～5ヶ月 0歳	～11ヶ月 ～11ヶ月 ～11ヶ月 1歳-	1歳 1歳 1歳 5歳-	2歳 2歳 2歳 10歳-	3歳 3歳 3歳 15歳-	4歳 4歳 4歳 20歳-	5歳 5歳 5歳 25歳-	6歳 6歳 6歳 30歳-	7歳 7歳 7歳 35歳-	8歳 8歳 8歳 40歳-	9歳 9歳 9歳 45歳-	10歳- 10歳- 10歳- 50歳-	15歳- 15歳- 15歳- 55歳-	20歳- 20歳- 20歳以上 60歳-	30歳- 30歳- 30歳- 65歳-	40歳- 40歳- 40歳- 70歳以上	50歳- 50歳- 50歳- 70歳以上	60歳- 60歳- 60歳- 70歳以上	70歳- 70歳以上 70歳以上	80歳以上
男女合計	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
インフルエンザ (※1)	年齢1	0.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.01	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢3	0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		0.12	-	0.02	0.07	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.93	-	0.05	0.09	0.26	0.09	0.09	0.07	0.05	0.05	-	-	0.09	0.02	0.07	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		2.93	0.02	0.07	0.44	0.26	0.40	0.26	0.21	0.19	0.09	0.09	0.14	0.35	0.07	0.35	-	-	-	-	-	-
水痘		0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		0.02	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.19	-	0.02	0.16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		0.05	-	-	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		0.02	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎 (※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2021年第9週

週, 疾病別報告数

データ入手日:2021年3月10日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	2	1	-	1	1	1
RSウイルス感染症	2	-	1	-	-	1
咽頭結膜熱	4	5	6	2	2	5
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	28	28	40	34	18	40
感染性胃腸炎	126	129	116	107	113	126
水痘	5	4	6	7	5	1
手足口病	1	3	1	-	2	-
伝染性紅斑	-	2	-	-	-	1
突発性発しん	13	18	13	16	10	8
ヘルパンギーナ	1	1	2	2	2	2
流行性耳下腺炎	2	1	-	1	1	1
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合 計	184	192	185	170	154	186

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	0.03	0.01	-	0.01	0.01	0.01
RSウイルス感染症	0.05	-	0.02	-	-	0.02
咽頭結膜熱	0.09	0.12	0.14	0.05	0.05	0.12
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.65	0.65	0.93	0.79	0.42	0.93
感染性胃腸炎	2.93	3.00	2.70	2.49	2.63	2.93
水痘	0.12	0.09	0.14	0.16	0.12	0.02
手足口病	0.02	0.07	0.02	-	0.05	-
伝染性紅斑	-	0.05	-	-	-	0.02
突発性発しん	0.30	0.42	0.30	0.37	0.23	0.19
ヘルパンギーナ	0.02	0.02	0.05	0.05	0.05	0.05
流行性耳下腺炎	0.05	0.02	-	0.02	0.02	0.02
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合 計	4.26	4.46	4.30	3.94	3.57	4.32

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。